

研究課題名	肺切除の治療戦略における術前術後 CT 画像解析法の開発
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科腫瘍外科学 教授 岡田 守人
研究期間	2021年3月4日 倫理委員会承認後 ～ 2024年03月
対象者	2007年01月から2022年12月の間に、広島大学病院呼吸器外科で肺切除による治療を受けられた患者。
意義・目的	<p>肺癌をはじめとして胸腔に主座をおくさまざまな疾患を対象として手術治療が選択されます。呼吸器外科領域では肺切除が主な術式となりますが、その肺切除にも様々な術式が存在し、術前および術中の所見を踏まえて適切な術式の選択に臨みます。術前術後画像検査においてCTは中心的なモダリティであり、その術前術後CT評価は適切な術式選択や術後の経過観察において非常に重要であり、CTより得られる情報をザイオソフト社から提供される画像解析ソフトウェアを用いて総合的に評価することで、これまでのCT所見以上に適切な治療戦略、つまり肺切除の術式選択を行うことが可能となり、術後の肺機能向上や予後の改善が期待できるため、研究を計画しました。</p>
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容はCT画像、年齢、性別、喫煙歴、画像上での腫瘍の大きさ・すりガラス陰影の割合・位置(左右、肺葉)、画像上の間質性肺炎・肺気腫の有無、術前の呼吸機能検査の数値(肺活量、1秒量、拡散能)、術式、術後の合併症の有無、肺癌の再発の有無、手術から再発までの日数、手術から死亡もしくは最終生存確認日までの日数、再発から最終生存確認日までの日数、病理学的因子(腫瘍径、組織型、組織亜型、胸膜浸潤の有無、リンパ管浸潤の有無、脈管浸潤の有無、リンパ節転移の有無、病期です。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)</p>
業務委託機関	<p>ザイオソフト株式会社 茅野秀介</p> <p>基本は広島大学（研究責任者 岡田守人）が解析します。特殊な解析をする場合にザイオソフト株式会社にCT画像データを提供しますが、特定可能な情報を削除し匿名化を行った後に提供いたします。</p>
試料・情報の管理責任者	広島大学 教授 岡田守人
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3</p> <p>Tel : 082-257-5869</p> <p>広島大学病院呼吸器外科 診療講師 見前 隆洋</p>